

国際医療福祉大学大学院博士課程院生だった
藤原瑠美さんのスライドから
研究の背景 その1
スウェーデンでは認知症の人が
認知症にはみえない。その理由をつきとめたい



©RUMI Fujiwara Hospitality 2013 All Rights reserved

画面左にいる女性を責任者だと勘違いした。
「彼女はゲスト（認知症の人）ですよ」と言われた。
男性を囲んでいる4人が認知症とは!!!!!!



つきとめたこと・その1
認知症の人には、医療(治療)より、
慣れ親しんだ暮らしが大切
ヘルパーやナースが自宅へ。



つきとめたこと その2
世話するケア → 見守るケア

スウェーデンは親子の同居率4%。
認知症でも自宅に。 そのかなりが 一人暮らし。
できることを自身できるように仕向けて見守る。



研究方法・その2 認知症ケアの歴史をたどる。



70年代末まで、ルンドの精神病院に認知症の人がいた

©RUMI Fujiwara Hospitality 2013 All Rights reserved

当時は、スタッフの裁量で容易に身体拘束ができた。
「私たちは認知症の人を薬で倉庫に管理していたようなもの
です」と、かつて精神病院に働いていたユニットマネージャー
ポールさんは語った。

